

一 般 質 問 通 告 書

令和7年第3回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	遠 山 勝 也	1 与論町の水道インフラの課題とその解決に向けた取組みについて	(1) 2024年1月1日の能登半島地震では水道供給がストップすると、普段通りの生活ができないことが証明され、水道供給は住民生活にとって最重要であることを再認識させられた。そこで、喫緊で対処すべき水道の課題として、次の2点について、見解を伺います。 1. 災害時に備えたスタッフの対応力の養成や、島内全体での仕組みづくり 2. 浄水場や送配水管等の水道関連施設の耐震化、塩害対策	町 長
		2 老朽化した浄水場の更新計画と硬度低減化施設建設について	(2) 古里浄水場は2001年から稼働し更新基準年を迎えようとしているが更新計画とそれに合わせた硬度低減化施設建設について見解を伺います。	町 長
2	林 敏 治	1 子育て住宅の整備について	(1) 今年、那間小学校は、校舎の老朽化が進み、一時使用校舎を建設する予定であるが、児童生徒は62名と減少傾向にある。那間小学校の存続を心配し、那間校区に公営住宅の建設等、定住化への取組を行うよう住民の声があるが、今後計画的に対策を講じる考えはないか。	町 長
		2 大規模災害に備えた施設の活用について	(1) 現在、防災センターは自衛隊の訓練活動時の宿舎となっている。今後大規模災害に備えた作戦指令室、備蓄保管庫を設け、危機管理体制の強化を図り、防災拠点として機能を発揮できるよう整備する考えはないか。 (2) 旧清掃センターの跡地を利用して、救急医療の搬送や物資輸送などの多用途ヘリポートを整備する考えはないか。	町 長 町 長
		3 離島医療支援活動について	(1) 沖縄北部地域と連携し、沖縄北部広域市町村圏事務組合に負担金を拠出して「北部地域救急救助ヘリ運航事業」のヘリ運航圏域の対象に加えてもらえるよう関係機関等に強く要請していく考えはないか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年第3回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
		4 魅力ある観光地の受け入れ体制強化	(1) 本町が魅力ある観光地であるためには、旅行客を温かく迎え入れ、行政や観光関連業者が中心となり、アロハシャツやかりゆしウェアの着用で統一感のある受け入れ体制の構築を図ることや、パナウル王国のゆるキャラを作成し、観光地としてのイメージを盛り上げていくことが必要と考えるが、そのような考えはないか。	町 長
3	高 田 豊 繁	1 介護保険認定システムコスト軽減化対策について	(1) 現在使用されている沖永良部与論地区広域事務組合介護認定ソフトは、独自の民間型ソフトが使用され、近隣組合と比較し、相当高額負担となっているが、厚労省から無料で提供されている介護認定ソフト2021をインストール活用し、行政コスト軽減化が図れないかと考えますが町長の考えを伺います。 (2) 町IT技術職員や地域IT専門業者の技術サポート態勢構築を含めて組合副管理者である町長から、積極的に提起する考えはないか伺います。	町 長 町 長
		2 公務手続きにおける押印事務の省略化について	(1) 令和2年内閣府や総務省から発出されている押印見直し助言に則って、本町及び沖永良部与論地区広域事務組合の行政手続事務において押印の廃止等公務の合理化を推進する考えはないか、町長の考えを伺います。	町 長
		3 宿泊税導入における関係宿泊業者との意見交換等について	(1) 新たに計画されている宿泊税条例の制定の前に、関係宿泊業者との意見交換や十分なる理解と協力が必要と考えますが町長の考えを伺います。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年第3回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
4	吉 田 勉	1 病虫害対策について	(1) ウリ科を主として、広範な作物に被害を及ぼす「セグロウリミバエ」の確認事例が増えているが、インゲン等の出荷作物の植え付け時期も間近であり、対象作物の移動規制実施の有無を含め様々な事態が懸念されるが、本町の現状や今後の対応策等について伺います。 (2) バッタ類の異常発生により、農作物の食害のほか、観葉植物や庭木を含む様々な植物に被害が出ているが、個人での防除には限度があり、住宅地周辺を除く地域ごとの協力による一斉防除が必要と感じるが、見解を伺います。	町 長
		2 ため池等の災害対策について	(1) 昨年の豪雨災害の経験から、低地に作られた、流末が地下浸透式になっているため池は、今後想定される異常気象による豪雨等に対応するためには、地下に有効に浸透できる場所の追加整備や調査検討が必要不可欠と感じるが、その後の検討状況や結果等について伺います。	町 長
5	川 内 恵 司	1 ふるさと留学制度の積極的推進について	(1) 与論中学校・高等学校における学年2学級の維持は、学校の存続のために必要と思われる。その生徒確保のため、ふるさと留学制度をより積極的に推進していく具体的対策として、ふるさと留学生(世帯)用住宅や寮の建設・確保が効果的と思うが、見解を伺います。	町 教 育 長
		2 ふるさと納税制度のより効果的な推進について	(1) 町の財政基盤の強化や、返礼品となる地元特産品生産等の活性化につながる個人版・企業版ふるさと納税制度のよりいっそう効果的な推進が必要と思うが、町長の考えを伺います。	町 長
		3 ふるさとの自然と伝統を次世代につなぐ地域づくりの推進について	(1) 与論島のかげがえのない宝であり、島民が等しく享受すべき共有の財産である美しい景観を守りつつ、かつ長い歳月をかけて培ってきた与論島固有の価値ある伝統を守るために、島内の土地、特に海岸沿いにある土地の売買等について、一定の規制を設ける必要があると思うが、町長の考えを伺います。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年第3回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
6	池 田 理 恵	1 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりについて	(1) 近年、子どもたちが主体的に学ぶ力を育てることが重要視されています。自ら生きる力を創造し、主体的に学ぶ教育環境を整える上で、町として現在どのような取り組みを進めているのか伺います。 (2) こどもまんなか社会の実現に向け、子どもの主体性を伸ばす環境づくりが重要だと考えます。施策の一つとして子どもの権利条例の検討も考えられますが、その必要性や方向性を町はどのように受け止めているのか伺います。	教 育 長 町 長